



**長崎労働局・長崎労働基準監督署・長崎市** が合同で  
「長崎市新庁舎建設建築工事現場」の **安全パトロール** を実施しました。

実施日	令和3年12月16日（木）
場所	長崎市新庁舎建設建築工事現場（長崎市魚の町）
内容	長崎県内では建設業における死傷災害が増加傾向にあり、中でも本年は死亡災害が多発していることから、建設業年末年始労働災害防止強調期間（令和3年12月1日～令和4年1月15日）中に、長崎労働局長が長崎労働基準監督署長及び長崎市（発注者）と連携の上、長崎市新庁舎建設建築工事現場の合同パトロールを実施し、更なる労働災害防止とその気運の醸成に取り組みました。

令和3年11月末時点の長崎県内の労働災害による死傷者数（死亡・休業4日以上）は1,529人となり、前年同期に比べ118人の増加となっています。建設業の死傷者数は、213人と前年同期と比べ31人増加しています。また、死亡災害は、全産業で9人発生し、そのうち7人（前年同期比5人増）が建設業で発生しており大変憂慮すべき状況です。

こうした状況を踏まえ、長崎労働局（局長：瀧ヶ平 仁）は、長崎労働基準監督署（署長：渡邊 正）、長崎市（発注者）と連携し、長崎県内では大規模工事現場の一つである長崎市新庁舎建設建築工事現場を合同でパトロールしました。

本工事現場は、地下1階 地上19階 塔屋1階の建築工事で、鉄骨組立工事を始めとして、クライミング式タワークレーンを使用したクレーン作業等が行われています。現在の進捗率は66.5%で令和4年11月末頃に建物が完成予定となっています。

パトロールの開始にあたり、長崎労働局長より工事関係者に向け、「現場内における機械や設備等の不安全な状態や不安全な行動があれば作業員同士お互いに気軽に注意し合える職場内の雰囲気をつくり、日々の安全活動に取り組んでいただき、労働災害の撲滅を目指していただきたい」などのメッセージが伝えられました。



現場のパトロールでは、墜落転落防止対策、安全通路の確保などが十分に行われているかを確認するとともに、工事施工者（清水・西海・長崎土建特定建設工事共同企業体）の担当者より現場での生産性・安全性の向上を目的として計画が進められている自動搬送システムについてデモンストレーションを交え紹介がありました。



講評では、デモンストレーション等を受け、長崎労働基準監督署長より、如何に安全に作業を行うか創意工夫し、その発想を今後とも持ち続け、建設業界の労働災害の撲滅に寄与していただきたいと話し、パトロールを閉会しました。

長崎労働局では、公共工事発注者を始めとして建設関係者と連携し、更なる労働災害防止活動の推進を図ります。